

市町村名	宜野湾市						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	文化財説明板・標識設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」設置する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額		9,327		16,100	
	(b)予算現額			9,062		16,100	
	(c)増減額(b-a)	0	▲265	0	0	0	
	(d)繰越額	1,749		8,733		12,520	
	A.計(b+d)	1,749	9,062	8,733	16,100	12,520	
	B.執行済額	671	594	8,467	3,580	10,927	
	うち交付金充当額	536	475	6,774	2,864	8,146	
	次年度繰越額		8,733				
	執行率(%) (B/A)	38.4%	6.6%	97.0%	22.2%	87.3%	
予算の状況の説明	R3繰越 設置予定箇所の近隣の土地所有者との調整に不測の期日を要したため、地域文化財案内板等の設置に係る工事請負費とマップの印刷製本費を繰り越し実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	文化財に文化財説明板と標識を作成設置する。地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	目標	案内板及び説明板のデザイン作成	案内板及び説明板の作成及び設置	案内板及び説明板の作成及び設置	()	
		実績	案内板及び説明板のデザイン作成	案内板及び説明板の作成及び設置	案内板及び説明板の作成及び設置		
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	R3年度は、地域文化財案内板及び説明板のデザインを作成し、R4年度は、地域文化財案内板及び文化財説明板を作成・設置した。また、伊佐、新城、普天間、愛知・神山地域の歴史文化遺産マップを作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	文化財標識・説明板設置件数 3件 地域文化財案内板 5件	目標	()	()	(7件)	(8件)	()
		実績			8件	8件	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	地域文化財案内板(普天間地域2件、新城地域1件、愛知地域1件、神山地域1件、伊佐地域件)計6件、文化財説明板(普天間の獅子舞、我如古スサーミー、各1件)計2件を設置した。地域の文化財情報を発信できるようになったことにより、訪れる方への地域の自然、歴史、文化に対する知識と理解が深められ、地域に愛着と誇りを育める「地域アイデンティティ」創出の糸口となった。						

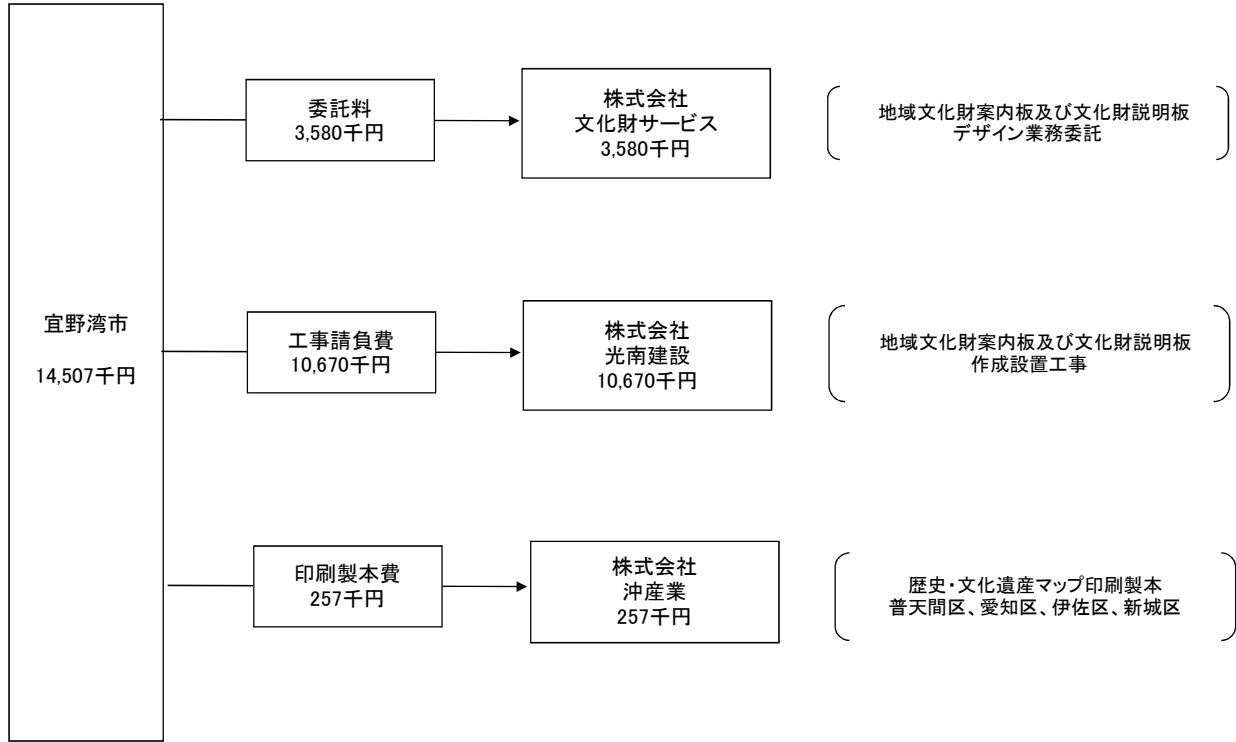
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 指定・登録文化財の保護・活用が図れるよう、市民の方々への啓発の充実が望まれている。 指定・登録文化財等の場所の問い合わせが多く寄せられている。 訪れた文化財の詳細な情報提供が求められている。 文化財周辺の開発(宅地建設等)があり、標識等の設置ができない文化財がある。 宜野湾誕生時の各字(安仁屋を除く)の案内板設置、歴史文化遺産マップ作成が終了した。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史と文化を今に伝える文化財の保護・利活用を図るために、文化財教室等(市主催の講座)において周知する。 文化財の場所、情報が市民や訪れる方へわかりやすく、身近に感じられるよう、作成・設置する必要がある。 対象となる文化財・地域の現状を踏まえて、関係者と調整し、標識を作成・設置する必要がある。 様々な工夫を行い、文化財の詳細な情報を提供できるようにする。 比較的歴史の新しい屋敷集落である真栄原区などの対応や新規の指定・登録文化財への対応が求められる。

今後の取り組み方針

- 文化財の所在する各区自治会・所有者・地域住民・来訪者・文化財ガイド等の意見・要望等を十分に反映させて実施する。
- 市主催の文化財教室において、マップを印刷し教材とする。
- 作成したパンフレットの配布や市HPへの掲載等を行う。必要に応じて再印刷・配布を行う。
- 比較的歴史の新しい地域の案内板設置などを検討し、新規指定・登録文化財の承認等があった際に、事業継続の可能性はある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
14,507	14,507	11,010	3,497	



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市					
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	嘉数高台公園施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)	
担当部署名	建設部 施設管理課	事業実施(予定)年度	平成30~令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性を図るため、公園施設を含めた再編整備工事を行った。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)
		(a) 当初予算額	16,830	180,704		190,688	
		(b) 予算現額	15,840	180,704		190,688	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 990	0	0	0	0
		(d) 繰越額			128,958	0	126,447
		A. 計(b+d)	15,840	180,704	128,958	190,688	126,447
		B. 執行済額	15,840	51,746	115,239	64,241	125,233
		うち交付金充当額	12,672	41,396	92,192	51,393	79,005
		次年度繰越額		128,958		126,447	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	28.6%	89.4%	33.7%	99.0%
予算の状況の説明	嘉数高台公園再編整備事業において、第2期工事を実施したが工事個所に地中埋設岩があり、その岩の除去作業に不測の日数を要したため、工事費にかかる126,447千円をR4年度へ繰り越し実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
	再編整備工事(2期)、(植栽)、広場側トイレ・東屋(4棟の内2棟)の実施	目標	(実施設計完了)	(嘉数高台公園施設整備工事(第1期)完了)	(再編整備工事(2期)、(植栽)、(広場側トイレ・東屋)の実施)	()	
		実績	実施設計完了	嘉数高台公園施設整備工事(第1期)繰越	整備工事(第1期)完了(第2期)繰越	再編整備工事(2期)、(植栽)、(広場側トイレ・東屋)の完了	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	嘉数高台公園再編整備工事(2期)、(植栽)、広場側トイレ・東屋(4棟の内2棟)を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	目標値(R6年度)
	再編整備工事(2期)、(植栽)、広場側トイレ・東屋(4棟の内2棟)の完了	目標	()	(嘉数高台公園施設整備工事(第1期)完了)	(再編整備工事(2期)、(植栽)、(広場側トイレ・東屋)の完了)	()	()
		実績		嘉数高台公園施設整備工事(第1期)繰越	整備工事(第1期)完了(第2期)繰越	再編整備工事(2期)、(植栽)、(広場側トイレ・東屋)の完了	
	戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	(80%以上)
		実績					
進捗状況説明	再編整備工事(2期)、(植栽)、広場側トイレ・東屋(4棟の内2棟)を完了した。						

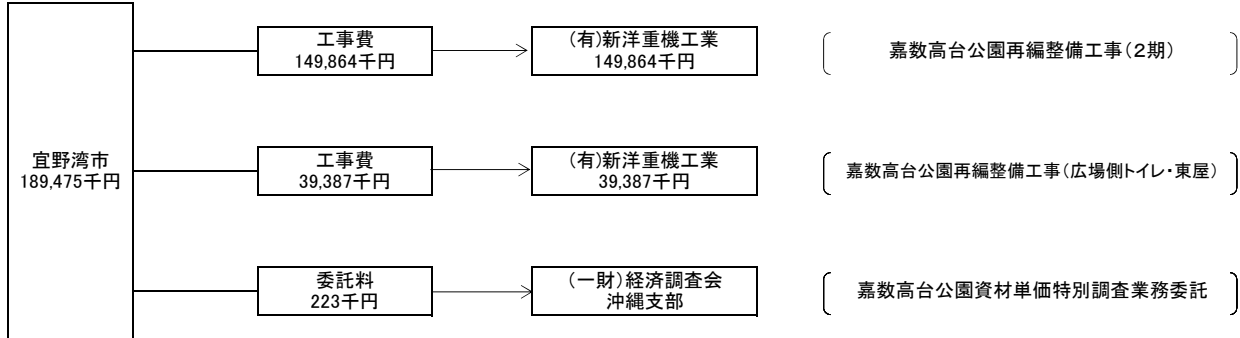
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・再編整備工事(2期)、(植栽)、広場側トイレ・東屋(4棟の内2棟)の完成後は、施設を開放することができたため、公園利便性の向上が図れた。今後は、目標達成のため、観光客及び公園利用者の増加へ向けた取組みが必要となる。</p>	<p>・再編工事による利便性の向上及び新たな施設整備等について、情報発信の強化により広報活動を行い、更なる公園利用者数の増に繋げる。</p>

今後の取り組み方針

・再編整備工事(2期)で完成した、植栽、広場側トイレ、東屋についての周知及び3期工事以降の再編工事概要について、市の広報及びSNS等で情報発信を実施し、市民・観光客利用者の利便性の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
189,475	189,475	130,398	59,077	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は実績と見積から精算し、適正な規模と認識している。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、精算段階で検査・検収を実施しており、事業目的に即して適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市					
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-①	文化財保存整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	
事業内容	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行い、市の歴史・文化の継承を図る。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5 年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)
	予算の状況	(a)当初予算額	54,634		48,015	
	(b)予算現額		54,634		41,739	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	▲6,276	0
	(d)繰越額	17,413		27,709	0	29,199
	A.計(b+d)	17,413	54,634	27,709	41,739	29,199
	B.執行済額	13,750	26,925	27,278	12,540	29,143
	うち交付金充当額	11,000	21,540	21,822	10,032	19,101
	次年度繰越額		27,709		29,199	
	執行率(%) (B/A)	79.0%	49.3%	98.4%	30.0%	99.8%
予算の状況の説明	R3保存整備の委託料及び工事請負費の契約執行残から繰越後の執行予定額を引いた額を補正減とした。 R3繰越 里道整備に係る周辺地権者及び石積積み直しに伴う市文化財保護審議会委員と調整に不測の日数を要したため工事に係る29,743千円を繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	本部御殿墓の保存整備工事を実施した。	目標 ()	野嵩クシヌカー保存整備工事 (本部御殿墓保存整備工事)	(本部御殿墓保存整備工事)	()	
	実績		野嵩クシヌカー保存整備工事	本部御殿墓保存整備工事		
	目標 (本部御殿墓基本実施設計)	()	()	()		
実績	本部御殿墓基本実施設計					
達成状況説明	R2年度に、本部御殿墓の保存整備基本・実施設計業務委託を実施し、R3年度(繰越)で、本部御殿墓の保存整備工事を実施、工事に伴う現場技術管理を委託し、本部御殿墓の石積整備等を完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	本部御殿墓の保存整備工事 1件	目標 ()	()	(1件)	(1件)	()
	実績			1件	1件	
	目標 ()	(1件)	()	()	()	
実績		1件				
進捗状況説明	本部御殿墓の保存整備工事を完了し、各種見学会の開催において案内ができ、市内外の方々に宜野湾市の各種文化財の魅力を伝えることができる。					

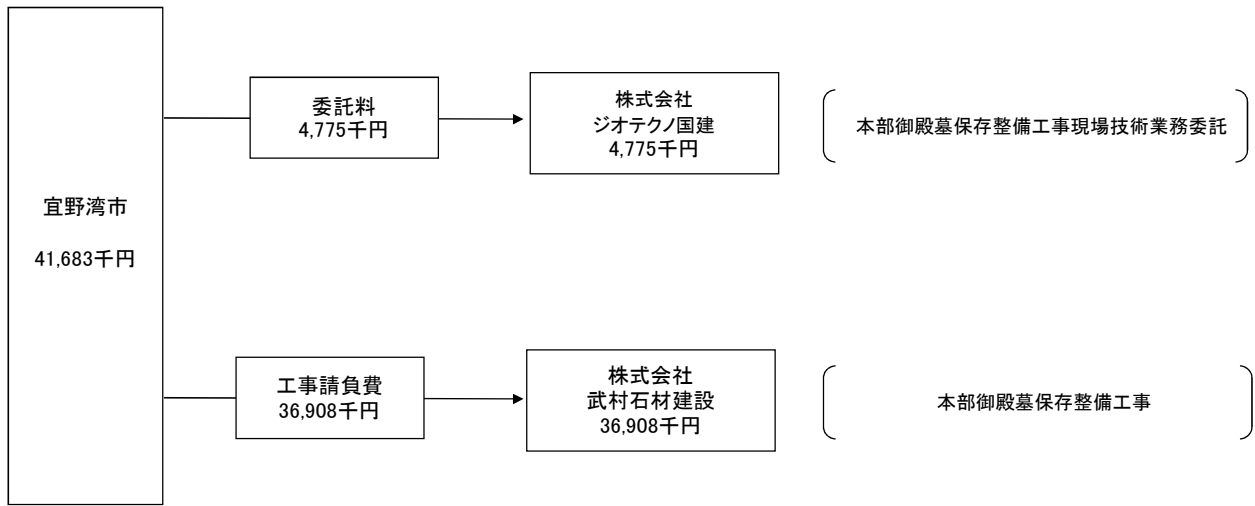
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 多くの文化財は地域の拝所として所在地に住む方々の信仰の対象であり、また、見学の対象として多くの方が現地を訪れるが、長年の風雨等により、石畳の表面の摩耗、石垣のはらみや崩落や損壊などがみられ、文化財の価値を損ねている。 修復が必要な指定文化財がある一方、整備計画等がなく、いち早く整備に取り掛かれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる文化財の現状を踏まえ、文化財的価値を回復させるよう、また、当該文化財の利活用に向けて事業立案時より、所有者・地域住民・来訪者(文化財めぐりの参加者等)・学識経験者から十分に意見・要望等を徹した後、整備に着手する必要がある。 各指定文化財ごとに整備計画をたて、崩落状況や整備環境などから優先順位を検討する。

今後の取り組み方針

- 各文化財の所有者・地域住民・来訪者及び学識経験者等の意見・要望等を十分に反映させ、課題を解決し、安全性を優先しつつ整備を行う。
- 文化財調査及び設計の参考となるよう、地域住民より当該文化財の情報を得るようし、情報が得られれば設計に反映する。
- 保存整備が必要な文化財が多くあるため、それぞれの文化財活用までも視野に入れた整備計画をとりまとめ、優先順位を決めて行う必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
41,683	41,683	29,133	12,550	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。委託も実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

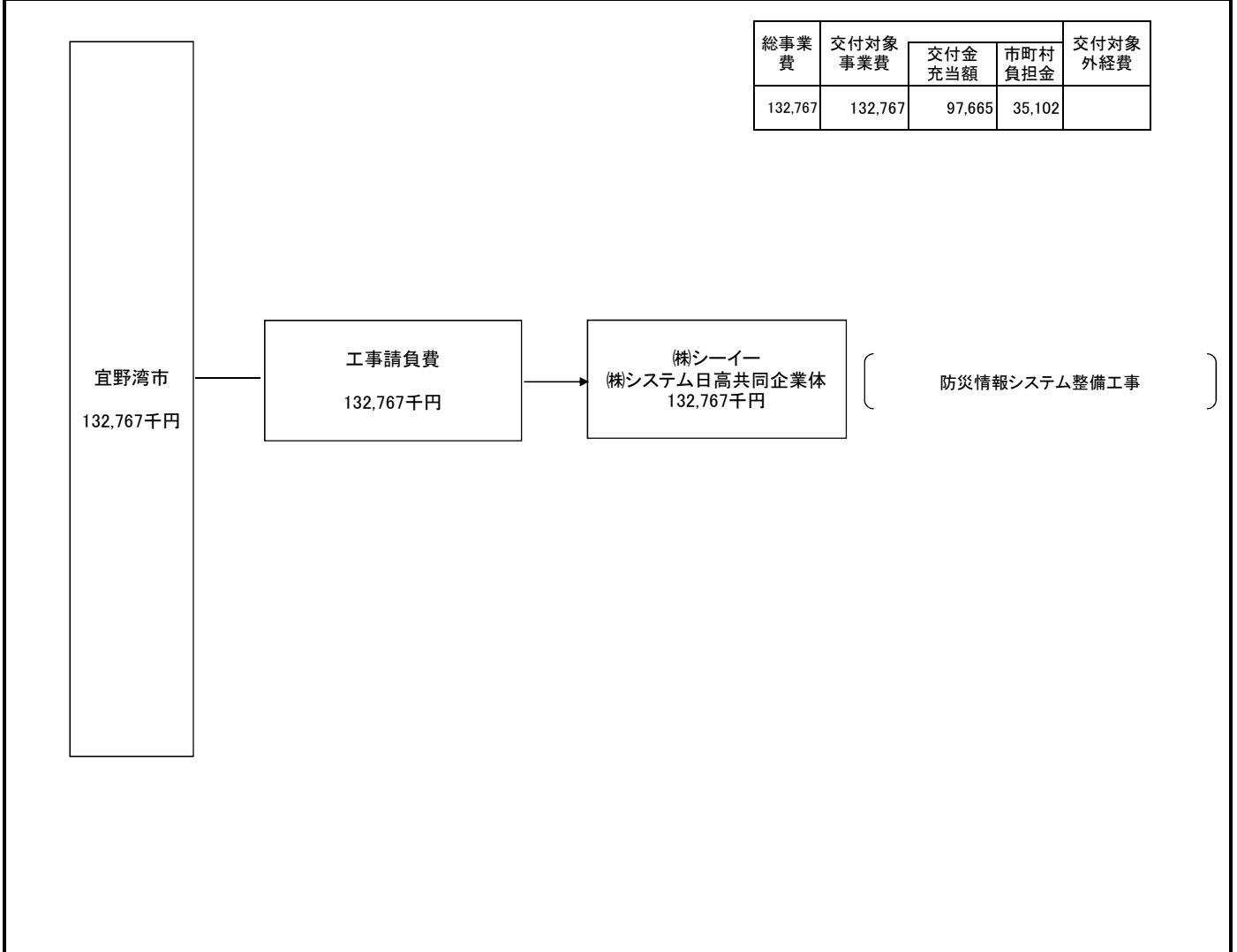
市町村名	宜野湾市						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	防災情報システム整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務部防災危機管理室	事業実施(予定)年度	平成29年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	大規模災害時に備え、役所と市内避難所を結んだ高速無線LANネットワークを構築し独自の通信手段を確保する。また津波襲来直前には沿岸に近づくことができないため、沿岸監視カメラの設置などの総合的な防災情報システムの整備を行うことで、災害対策本部などにおいて津波監視カメラで沿岸付近などの住民を監視し、避難を呼びかけることが可能となる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	8,847			142,820	
		B. 執行済額	8,424			142,820	
		うち交付金充当額	6,739			39,813	
		次年度繰越額	0	0		93,053	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	34.8%	89.2%
	予算の状況の説明 防災情報システム整備工事は、令和4年3月に完了する予定であったが、ネットワークの中継施設(団地)の管理者(自治会)から防災情報システム設備の電気料金と当該施設共用部分の電気料金の契約を分離することについて要望があり、その調整に2か月の不測の日数を要したため、年度内の完了が困難となり、令和4年度に繰越し実施した。						
	活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		防災情報システムの整備の実施	目標	実施設計			防災情報システムの構築・整備の実施
実績			設計完了			防災情報システム発注、入札、工事契約業務委託の完了	
		目標					
		実績					
達成状況説明	令和3年度に発注、入札業務を完了。防災情報システム整備工事を完了する予定だったが、年度内の完了が困難となり繰越となった。 令和4年度5月に整備工事が完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	防災情報システムの構築・整備の完了	目標	()	()	()	防災情報システムの構築・整備の完了	()
		実績	/			防災情報システムの構築・整備の完了	/
			目標	()	()	()	()
			実績	/			/
	進捗状況説明	令和4年5月で防災情報システムの整備完了し、目標達成となった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	防災情報システムの整備完了により、災害対策本部において津波監視カメラで沿岸付近の様子を監視することができるようになった。 今後、災害時のシステムの活用に向け、使用訓練を実施する必要がある。	整備した防災情報システムを活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。

今後の取り組み方針

整備した情報システムの成果については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、整備した防災情報システム情報システムを活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、適切な被災者支援に資すると考える。
毎年定期的実施される訓練での検証方法を検討し、取組を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・工事請負業者は指名競争入札で選定しており妥当であると判断した。 ・予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当であると判断した。 ・費目、使途日手は計画段階で検査しており、目的に即しており必要な物品であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	